

女川高等学園で地域協働の花壇づくりが始まっています

開校から3年目を迎え、全学年の生徒がそろった「宮城県立支援学校女川高等学園」では、活用されていない中庭を学校生活の中で楽しめる場にしたいとの思いから花壇づくりを構想しています。学校からは、「運営するカフェで料理や飲み物等に使えるハーブを中心に植えたい」という意見も出ています(カフェの営業は毎週金曜午前10時~11時30分)。

花壇づくりを始めるにあたり、植物の選び方や配置、植え方について、ガーデニングに詳しい地域の方によるサポートを受けられないかと町に相談があり、同様の活動の先輩である上三区「あ~らだての小みちの会」のみなさんにアドバイスをもらいながら、一緒に取り組むことになりました。



▶▶▶日陰でも元気に育つ植物を募集しています

花壇を整備する中庭は校舎と校舎の間に位置しているため、日中も日陰になることの多い場所で、このような土地でも育つ植物を植える予定です。日陰の場所にも強い植物に詳しい方、もしくはそのような植物をお持ちで株分けしてくださる方、ぜひ花壇づくりにご協力ください。中庭の見学也大歓迎です!

◆問合せ先 女川高等学園(教頭 佐藤) ☎50-1088



▲花壇予定地の中庭

オープンガーデンの取り組みを見学してみませんか?

昨年開催した寄せ植え講座で講師をしていただいた上杉心音さんやその知人のご自宅に伺い、自宅の庭や地域共同の花壇から始まる街並みづくり、オープンガーデンの取り組みについて学びませんか? 実際にお庭を見学し、直接、経験談を聞くことができます。



▲実際に訪問予定の庭

- ◆行き先 名取市ゆりが丘、仙台市八木山ほか
- ◆日時 6月4日(月)午前8時~午後5時
- ◆集合場所・時間 女川駅前ロータリー 午前8時
- ◆参加費 昼食代程度
- ◆定員 8名程度(定員になり次第締切、お子様連れ可)
- ◆申込み先 下の問合せ先まで

○オープンガーデンとは

日ごろ丹精込めて手入れされている個人の庭等を、一定期間公開する催し。全国各地で開催され、素敵なガーデン探し・見学のまち歩き、植物愛好家同士の地域交流、町の魅力発信につながっています。

「思いさえあれば、できないことはない」

特別インタビュー 女川福幸丸船長 植木智子さん

震災後めげることが多かった中、「町民が憩え、触れ合える場を作り、夢を持って自分も楽しめるイベントを」と始めた我歴stockも今年で8回目になります。

高齢者が多い町なので、当初は幅が広く誰もが楽しめるものを考えましたが、20歳~30歳代が楽しめるイベントをすることで自分たちも楽しみ、そして自分の可能性を広げられることを子どもたちにも知ってもらい、さらに親子で楽しめる町になって、そんな様子を見たお年寄りに元気になってもらいたいと、喜んでもらえることを考え続けて毎年企画しています。お子さんと一緒でも安心して音楽を聴いてもらいたいので、今年はキッズコーナーを設けます。次々アイデアが浮かんでくるんです。準備が楽しいので、当日になると「もう終わってしまう(泣)」と思ってしまうほど。目指すは10回。チャレンジを続け、最高の形で復活予定の「みなと祭り」にバトンタッチしたいです!



活動の告知など、まち活通信に掲載したい情報があれば、お気軽にご連絡ください!

- ◆発行・問合せ先 女川町まちづくり推進協議会事務局(役場復興推進課復興調整係)
☎54-3131内線291 メールアドレス: fukko7@town.onagawa.miyagi.jp
○まち活フェイスブック [まち活@おながわ](#) で検索